

兵庫県のみ漁場環境情報（西播海域 7 号）

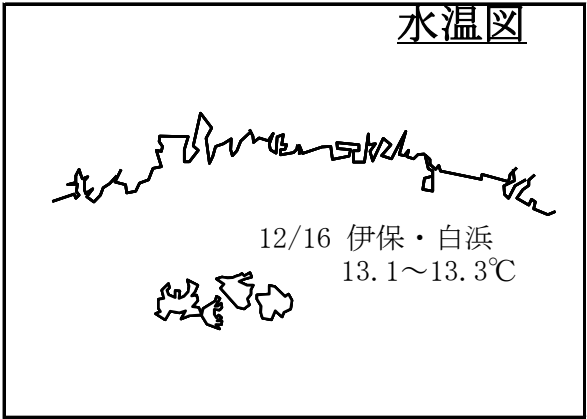
2025年12月16日発行  
兵庫のみ研究所

海域全般に、大型珪藻コシノディスカスは確認されますが、発生量は前回(12/2)よりも、さらに減少しています。また、赤穂漁場では小型珪藻のスケルトネマ、キートセロスがやや多く確認されます。窒素は、陸水等の影響が見られる地点を除き西播地先で1～2  $\mu\text{g at/L}$  台、沖合漁場で2～3  $\mu\text{g at/L}$  台の値となっています。

（珪藻、栄養塩ほか）

各海域のコシノディスカス発生量は海水1Lあたり、西播地先で0～10細胞（前回値：10～60細胞）、沖合漁場で10～50細胞（前回値：10～100細胞）であった。西播地先では、スケルトネマ、キートセロス等の小型珪藻がわずかに確認されており、赤穂漁場では前回同様多く確認されます。また、その他の西播地先においても確認されるが、発生量は前回同様少ない状況です。網干・伊保・白浜漁場では陸水の影響によりアンモニア態窒素の値が高くなっていた。

水温図



		前回値	今回値	平年値	昨年値
西播地先	窒素	3.4	3.8	3.3	1.5
	リン	0.46	0.46	0.53	0.47
家島・坊勢	窒素	2.0	2.8	4.1	3.8
	リン	0.54	0.60	0.68	0.72

(12/2) (12/17)

栄養塩（窒素）図

2025年12月16日調査

